

Universal-ALP-facilitating-strategies-2023-07-18 (翻訳：藪中良彦)

Universal ALP – Assessment of Learning Process – ALP-Facilitating Strategies

汎用版 ALP

学習プロセスの評価 ALP 促通戦略

ALP ツールの紹介

ALP ツールは、プロセスに基づく評価ツールで、ALP インストゥルメントと ALP 促通戦略から構成されています。インストゥルメントは、ツール使用学習過程の個人の現在の学習相を評価するために使用されます。促通戦略は、ファシリテーター（促通者）のアプローチにガイダンスを与えると共に、ツール使用理解における各個人の現在の学習段階と学習相に合わせた学習の支援方法のアイデアをファシリテーターに提供します。

汎用版 ALP ツールは、簡単なものから複雑なものまで、手で使うツール、コミュニケーションや移動のための機器、さらにはそれに付随するアクセサリに至るまで、作業遂行に関連するあらゆるツール使用に適用可能です。ALP ツールは、動力付き移動介入分野での厳密な分析的グラウンデッド・セオリーのプロセスを通じて開発されました。その過程で特定された学習過程は普遍的で、ツール使用を伴う他の作業遂行の評価にも役立ちます。推奨される使い方として、ALP インストゥルメントと ALP 促通戦略を併用することが挙げられます (Durkin, 2006; Nilsson 2007; Nilsson & Durkin, 2014 and 2017, Nilsson & Kenyon, 2022)..

ファシリテーターのアプローチ

研究活動において私たちは、「研究は、研究結果を使用する者に導かれるものであり、対象者と協力して、対象者を力づけるために行うものである。」ということを信じて、研究を行ってきました。各個人は、おのおの独自の学習方法があり、おのおの独自の学習パターンを見せるでしょう。また、私たちは、ツール使用とその学習過程は、個人の作業遂行能力を発展させる一部とみなしています。介入の目標は、ツール使用の理解とパフォーマンスにおいて複雑性を高めることです。

以下の箇条書きは、この促通戦略の中で確立された包括的なアプローチと、ファシリテーター（促通者）に要求される技能を記述しています。

- 対象者主導の活動
- パートナーシップの構築
- 対象者自身が行ったり相互作用/交流したりする時に主導権を発揮するように励ますために、対象者にとってちょうど良い挑戦のレベルに、ファシリテーターの活動は調整されます。
- 対象者の問題解決能力を高めるアプローチ：それは、学習が進む時期と後退してしまう時期の間で揺れ動く中で対象者自身での問題解決を促すことです。
- ファシリテーターとしてあなたは、あなたの対象者を知り、各対象者独自のニーズに合うように戦略を適応する必要があります。あなたが判断の基とするために使用するべき戦略は、以下の通りです。
- あなた自身の戦略を考案するとき、常に学習過程を促すと考えられる方法を探する必要があります。これは、適切でよいタイミングで試行錯誤することを許すことによって達成可能です。例えば、ツール使用の複雑さを上げてみたり、より挑戦的で予測が難しい状況や環境に対象者を連れて行ったりすることなどです。
- ファシリテーターとして働きながら、対話と相互交流を通してあなたは対象者を理解してくるので、あなたは適切な観察能力と聞く技術を必要とします。
- 適切な言葉、内容、量、声の調子、強調を伴った対話を各対象者に提供するために、ファシリテーターとしてあなた自身の言語スキルを知っておく必要があります。
- ボディーランゲージ（身体言語）を使って視覚的にどのようにあなたがコミュニケーションを取っているのかを知ることも、同じくらい重要です。対象者は、あなたの表情、手、肩、姿勢のしぐさを解釈するでしょう。
- 2人以上の学習者と一緒にセッションを行うとき、ファシリテーターはグループプロセス（集団過程）を理解することも必要です。

ALP促通戦略

促通戦略の目的は、対象者の学習を支援する方法のガイドラインを提供することです。学習支援の開始点は、対象者の現在のツール使用の理解度や、特定の状況での行動方法に基づきます。そのため、まずファシリテーターはALPインストゥルメントを用いて対象者の学習段階と学習相を評価し、その後、ALP促通戦略を参考にして、対象者の現在のツール使用理解の段階と相に合った促通戦略を見つけることが推奨されます。

学習プロセスのすべての相に適用できる一般的な戦略と、3つの段階および8つの相に合わせた特定の戦略が用意されています。また、3つの段階ごとにファシリテーターが意識すべきいくつかの重要なポイントがあります。

段階1：機能の探索—体とツール（第1-3相）

静か

警戒

ゆっくりとしたペースの活動への注意

段階2：行為の組み合わせと順序の探求—身体，ツール，環境（第4-5相）

試行錯誤するのを許すことが必要

結果を振り返る過程に対象者を参加させる

段階3：パフォーマンスの探求—身体，ツール，環境，作業（第6-9相）

期待や安全性の許容範囲内のパフォーマンス水準を維持するために過度に保護的な誘導をすることを避ける

より鋭い観察スキルが必要とされる

あらゆる意味において多様な速いペースの相互作用/交流へ注意しなければならない

一般的促通戦略

- 反応的で支援的なパートナーとして、高いレベルのエネルギーと集中を維持することが必要です。
- 対象者の現在の学習段階と学習相にとってちょうど良いレベルの挑戦を提供してください。

難易度が低すぎる場合：あまりにも簡単で、対象者は退屈になり興味や好奇心を失うでしょう。

難易度が高すぎる場合：失敗が続き、対象者は難しすぎると感じ興味と好奇心を失うでしょう。

段階1：機能の探索—身体とツールに焦点（内向的）

- 対象者が自分のやり方で探索するための時間を与える。

- 相互交流アプローチを根気よく行う。対話を促すと共に、タッチや徒手誘導のような身体的な要求をするように励まします。

段階2：行為の組み合わせと順序の探求—身体、ツール、環境に焦点（困難な移行期）

- 低いレベルの達成や成功がほとんどないことが観察される可能性があります。
- 対象者が成功できるように難易度を調整して、フラストレーションのレベルを最小化することが重要です。

第3段階：パフォーマンスの探索—身体、ツール、環境、作業に焦点（外向的）

- テンポやスピードを上げ、多様性を持たせる
- 身体的および社会的により複雑な相互作用/交流がある状況を設定する

どの段階でも、対象者の過負荷の徴候を探してください。

無反応、閉じられた目またはどんよりとした目

冷や汗、顔面蒼白

疲れ切った徴候や表情

対象者が、異なった学習過程のポイントで異なった方法で、複数の学習相に亘って学習が進む時期と後退する時期の間で揺れ動く可能性があることを知ってください。

複数の学習相に亘る学習が進む時期と後退する時期の変動

学習が進むパターンと後退するパターンがしばしば観察され、すべての学習段階において同じく生じるように見えますが、段階1と段階2においては特定の特徴があります。この変動は、エネルギー、動機、注意の減少を含む多くの要素によって生じます。学習段階の間の最も顕著な違いは、より高い段階に比べてより低い段階では、回復の割合、修復または復旧のテンポがより遅くなる傾向があることです。

段階1：機能の探索—内向的段階

- 最も高いレベルの期間が短い
- レベル低下後に、最も高いレベルまでなかなか回復しない
- 低すぎる難易度の課題を与えてしまいやすい

段階3：パフォーマンスの探求—外向的段階

- 最も高いレベルの期間が長い

- レベル低下後に、最も高いレベルにすぐに回復する
- 高すぎる難易度の課題を与えてしまいやすいことを知ってください
- パフォーマンスが低下する原因に目を向けてください

グループワークの利用

対象者がツール使用を練習するグループを作る時には、注意深い配慮と継続的な振り返りが必要です。どんなときにも、グループ内で同時に活動する対象者とファシリテーターの数は、学習環境のダイナミクス（集団力学）に影響します。多層的な相互交流/作用がある環境にどのように対処するかについて、各対象者は個別に評価される必要があります。

段階3の対象者：パフォーマンスの探索

対象者は第6相（基本的操作習得者）に達して初めて、グループ内で練習したり注意深くなくなったりできます。というのは、そのレベルでの主な活動の焦点が、しばしば周りの人たちを無視して、目的をもって目標に向かってツールを使用することだからです。グループワークの環境は、多層的な相互交流/作用の発達と周りの人達のこと気が付くことを徐々に導入するために使うことができます。

ファシリテーターは、多層的な相互交流/作用がある環境でのツール使用の練習では指導や誘導がより難しくなり、特に仲間に対する判断や他者との交流や他者の尊重や他者への気配りの学習において強い感情が表れることがある点に注意する必要があります。

段階2の対象者：行為の組み合わせと順序の探索

第4相（少し上手になった初心者）と第5相（かなり上手になった初心者）の対象者は、対象者とファシリテーターから構成される複数のペアが同じ環境の中でセッションに取り組む平行グループ（完全なグループワークではなく、基本的に一人の対象者と一人のファシリテーターがペアになってセッションに取り組むが、場所を共有する）に参加することが有効です。しかし、多層的な相互交流/作用は期待できず、静かに過ごせる場所を確保するために十分に広い空間が必要です。この学習段階では、対象者はグループから離れ小休止する時間が必要で、小休止中に他の学習者を観察して時間を過ごすことが有効です。

新しい状況にツール使用を導入する前に考慮すべきこと

- 新しいまたは複雑な状況を導入する前に、ツール使用の順序パターン（第4-5相）を慣れた状況で構築しておく必要があります

- 不慣れな状況でツール使用のパフォーマンスを統合する方法を探索する前に、基礎的なツール使用の概念を理解できるようにしておく必要があります
- 安全で構造化された枠組みの中で、多様な関係性（身体的、物理的、空間的、タイミング、社会的）を学ぶ必要があります
- 新しい状況でのツール使用の探索は、注意の分割や移行及び多重課題のような注意力調整の要求を高めます。
- 屋外の曖昧に枠組みされた自然の環境に比べて、屋内の明確に枠組みされた環境でのツール使用と遂行はより容易です。例えば、屋内の境界は、曖昧でより距離が遠い屋外の境界よりも、より明確で空間関係を理解しやすい。
- ツール使用の結果と体の動きの同期が求められるツール使用状況は、反応して相互作用するためにより力が必要であり、要求が高まります。例えば、電動車椅子やダウンヒルスキーです。
- 新しい状況での不慣れな他者との相互交流やコミュニケーションを含むツール使用状況では、注意力調整の要求が高まります。例えば、拡張代替コミュニケーション（AAC）機器を使ってショッピングモールで見知らぬ人とコミュニケーションを取るといった状況です。

3つの学習段階と8つの学習相のそれぞれにおける具体的な 促通戦略

具体的な促通戦略によって、促通アプローチおよび対象者のツール使用探索をガイドする時に考慮すべき点についてのアイデアを得ることができます。最初に学習段階について考え、次にその段階に含まれる学習相について考えます。

段階 1 の戦略：機能の探索

（学習相：1 未経験者、2 興味を示し始めた未経験者、3 初心者）
内向的段階

身体とツールに焦点を当てる

安心安全だと感じる関係を確立するために、優しいアプローチを使う。

対象者の注意をツール機能と自分の身体の近くに集中させる。

ツール機能とツールとの相互作用に注意を向けさせるための戦略

ツール使用のための身体と心の意識を育成する。

ツールの各部分とツール機能を探索するように励ます。

対象者が、注意をツールに戻すことができるように援助する。

対象者がツールを物理的に扱ったり、ツールについて考えたりする行動（見る、聞く、考える、熟考する、握る、押す、引く、握り続ける）に達するように、対象者のニーズに合わせてインプットの量を調整しながら、徒手、非言語、口頭によるガイダンスを提供する。徒手のガイドでは、強めの深い圧力から軽い誘導性のタッチまで調整し、中枢部から抹消部へと徐々に移行する。

「あなたが自分の考えで行動していて、物事を起こすのはあなたである」ことを見せながら、対象者の空間から離れたり再び入ったりすることを絶えず行ってください。対象者の空間から離れ、静かにして、対象者が行動したり反応したりする時間を与えてください。対象者の空間に再び入り、徒手的な誘導を提供したり、対話の中で身体的ジェスチャーまたは言語的なきっかけを与えたりしてください。

対象者が体と心をツール機能に同調できるように促してください。動作/遂行中の対象者を観察し、対象者にツール使用の効果や外的な力に適応するための時間を与えてください。

フラストレーション

対象者の拒否、不安または消極性を受け入れ、この段階で基本的なフラストレーションの兆候があるかもしれないことを知っておいてください。対象者は、ツール使用によって生じる肯定的な効果や気持ちの良い感覚や結果を繰り返すことができずに、いらだった様子を見せるかもしれません。

社会的な相互交流に注意を向けさせるための戦略

一対一の相互交流

身体的及び社会的相互交流の構造化された多様性（計画的に身体的及び社会的相互交流に多様性を持たせてください）

言葉

威厳のある言葉ではあるが、優しい言葉

身体部位、ツールの各部分、行為、ツール使用パフォーマンスの効果と結果に名前を付けてください。

物や行為をどのように呼ぶのかを教えるために、行われる行為に言葉を結び付けてください。そのようにすることによって、離れた位置からのガイダンスを与える機会を提供してください。

ゆっくりとしたペースのよく考えたうえでの言葉

正確で凝縮された言葉

沈黙の時間と言葉かけする時間を切り替える。

否定的な結果または予期していなかったのに成功した出来事に併せて、叫んだりまたは会話のボリュームを上げたりするような反射的な反応を示さないようにしてください。

身体言語 (body language) は、具体的で物理的で、説明や実演をする形で使用してください。

身体言語と対象者を徒手的に誘導することを使って、または対象者が理解できる言葉を使って、ツールの機能を説明してください。

自ら主導的に行動を始めることを励ましてください—ツールのいろいろな部分を見たり触ったり考えたりする

対象者が探索的な行為を主導的に始めるために徒手的誘導を使うことによって、対象者の主導性の発達を促してください。そして、次の段階として、対象者が自分自身で探索を続けることを励まししながら、優しく誘導を放して行ってください。

対象者が自分のやり方でツールを探索できるようにしてください。

いろいろなレベルの複雑さや「誤った」ツール使用を行うような、極端なツール使用を経験する機会を、対象者に与えてください。記憶にツール使用の経験を蓄積したり記憶からツール使用の経験を取り出したりすることの一部として満足したと感じるレベルに達するために、対象者が探索的行為を絶えず繰り返すことができるようにしてください。

対象者が、自分のやり方でいろいろな試行を行えるようにしてください。

ファシリテーターに導かれてではなく、対象者が自分で考えて探索を実行できるようにしてください。

第1相の戦略—未経験者

対象者とのラポート（強い信頼関係）を確立してください。

ツール使用の効果と結果の経験を通して、覚醒と好奇心を高めてください。

ファシリテーターからの徒手的誘導や声掛けによる励ましによって、身体的または精神的なツール使用の経験を提供してください。

ツール使用の効果、感覚、結果の経験を繰り返してください。

好奇心を高めて探索が実行できるように、不安を減少させてください。

偶発的にツール使用の効果が生じるように計画してください。

対象者にとって最も受け入れやすい体の部位への徒手的な誘導を通して、深い固有感覚入力を提供してください。それは、最も遠い身体部位であるかもしれません。すなわち、足部から始めるのが良いかもしれません。

不注意によって生じた意図しない結果について説明したり、指摘したり、意見を述べてください。

第2相の戦略—興味を示し始めた未経験者

ただ探索すること自体を目的として、周りに手を伸ばしたり、詳しく探索したりすることを励ましてください。

対象者が、体が届く範囲内または頭の中でツールのすべての部分を探索できるようにしてください。

そばにはいるけれども静かにしていることによって、対象者が見かけ上何も活動しない時間を作ってください。

基本的なツール使用に関する洞察を深めるために、徒手的誘導や短く直接的な音声指示を提供して支援してください。対象者が行為を仕上げる時に励ましてください。対象者のツール使用における全ての変化を育み強化してください。

徒手的誘導や非言語的または言語的ガイダンスを通して、基本的なツール使用のアイデアを促してください。

第3相の戦略—初心者

対象者の注意をツールに戻すために、ツールを指さしたり軽くたたいたり言及したりしてください。

基礎的なツール使用についての対象者の考えをリフレッシュ（再び新しく）してください。

対象者から離れたり、対象者が自分のやり方で反応するのを待ったりすることによって、対象者が自らの意志で行為を行うことができるようにしてください。徒手的誘導、非言語的および声掛けによる励ましを最小限に抑え、より遠くから短い端的な言葉のきっかけを与えてください。

この段階では、対象者の行動や使っている物に名前を付けることによって、複数の行為を結び付けるために話言葉が使われます。

対象者が感覚と経験を統合できるように、沈黙の時間を作ってください。

最初は、対象者が活動を実行するために長い時間を与えて待ってください。その後対象者の学習が進むと、対象者とファシリテーターが相互に関わる時間が減ります。同時に励ましの言葉掛けも減ります。

段階2の戦略：行為の組み合わせと順序の探索

（第4相 少し上手になった初心者；第5相 かなり上手になった初心者）

難しい移行期レベル

身体、ツール、環境に焦点を当てる

ツール機能とツールを使用して達成する外部の目標に注意を集中させてください。

ツール使用による相互交流/作用に注意を向けさせるための戦略

うまくいくパターンの構築のために探索と試行を行うように励ましてください。

徒手的誘導と言葉のきっかけまたは指図を混ぜ合わせて使用して、邪魔しないてください。

スピード、テンポまたはツール使用の複雑さのバリエーションを導入してください。

ツールを優しく使うという概念を導入してください。これには、加えられる力や方向（身体的および精神的）の調整と共に、ツール使用のためのよりゆっくりと段階的な動きまたはアプローチを習得することが含まれます。

ツール使用の状況において、現在の状態や変化に焦点を当てることで、対象者が空間、時間、物理的および社会的環境における関係性を理解できるよう支援してください。

操作の組み合わせの成功、困難、失敗について詳細を確かめてください。

ツールを使用して目標を達成するという発想を伝えるために、外的動機付けにつながるものを提供してください。

フラストレーション

対象者がフラストレーションを表すことを受け入れてください。

学習を邪魔しないレベルまでフラストレーションを減少させるために、対象者を落ち着かせて安心させてください。

対象者に短期間の成功体験を提供するために、学習段階を一つ戻し、再度学習を積み上げていってください。

社会的相互交流に注意を向けさせるための戦略

相互交流する距離を広げてください。

一度に一人の人と一対一の社会的相互交流をする時に、ファシリテーターが前や後に動いて距離と相互交流空間の範囲を増やして、ツールを使った相互交流に挑戦するように誘ってください。

簡単な遊び心のある一対一の相互交流活動を導入し、徐々に複雑さの段階を上げていってください。

言葉の使用

簡単な言葉と身体言語と誘導を使った対話

ツール機能とツール使用の結果に名前を付けて説明してください。

簡単な話言葉と身体言語と徒手的誘導を通してツール機能を説明してください。

対象者はある状況や環境でツールを使用するので、自分のことは自分で処理するために、判断技能の学習を促してください。

自分で率先して試みることを励ましてください。 一どのようにすればうまくいくかを見つかけたり、違う試みをしてみたり、違うやり方を試みてみたりすることを励ましてください。

対象者が、自分のやり方でツールの使用方法を探索できるようにしてください。

対象者が、間違ったやり方を行う機会を与えてください。

対象者が、ファシリテーターに誘導されずに、自分自身の戦略を作り上げることができるようにしてください。

対象者に助けが必要かまたは離れていてほしいのかを尋ねてください。そして、対象者が助けを求めるまで待ってください。

第4相の戦略—少し上手になった初心者

自分でツールの探索をすることを励ますために、徒手的誘導または口頭説明を提供してください。

干渉しない時間を織り込みながら、気が散った時は、対象者が課題に戻るように繰り返し試みてください。

ところどころによりにぎやかな環境を取り交ぜながら、刺激の少ない環境で静かな時間を対象者に提供してください。

対象者が、双方向の交流を試みることを促してください。

第5相の戦略—かなり上手になった初心者

対象者が望むツール使用の結果をもたらすために、近位から始めて徐々に遠位から誘導を行いながら、共同作業的な徒手的誘導または口頭説明を提供してください。

対象者のエネルギーレベルを読み取り、対象者と協力して挑戦が許容範囲レベルになるように複雑さを調整してください。

対象者が目標に達することができるように、使用したいと思う複雑さを選択させてください。

ツール使用を対象者の個人的な関心の枠組みに結び付けてください。

相互交流/作用の中にツールの使用を含めてください。

順番交替のような相互交流とツール使用を連合させてください。

代替ツールの考慮

対象者が持続的にツールを使用し頑張っても失敗して成果が得られないために生じるフラストレーションを軽減するため、追加の機器や別のツールを導入することを検討する。対象者はツールがどのように作動し、特に環境状況に合わせて機能をどのように組みあわせるかについて理解できる段階に達しているため、対象者に希望するツールや機器について尋ねてください。

追加のツールまたは他のツールを考慮する前に、「難しい移行期」の段階に対象者が達するのを待つことが重要です。もし新しい機器がより早い段階で与えられると、基本的なツール使用の概念を探索する機会と、目標指向型のツール使用のために適切な行為の組み合わせを作り出す必要があることを理解する機会が奪われてしまいます。

対象者は、試行錯誤を行う機会が必要です。その過程で、ツール使用において好ましい結果や望ましくない結果を引き起こす行動を探索します。予想外の感覚的な影響やフィードバックの経験が、活動の順序を探る手がかりとなります。制御できるツール機能の連鎖や順序が多くなることで、対象者は目標指向型ツール使用パフォーマンスを可能にする完全なツール使用制御パターンを組み立てることができるようになります。

突然、ファシリテーターまたはツールが操作や運用を引き継いでしまうと、対象者を非常に混乱させる可能性があります。このような状況では、対象者がより複雑な操作や問題解決能力を発達させる機会が失われてしまうことになります。

追加の機器または新しいツールは、以下のような状況にある対象者を支援するのに役立ちます。複雑な状況や環境で操作を試みる際に、成功率が一貫して低く、それが原因で強いフラストレーションを感じている場合や、エネルギーレベルを維持するために電子的な支援装置が必要な場合です。

段階 3 の戦略—パフォーマンスの探索

(第 6 相 基本操作習得者；第 7 相 上達者；第 8 相 熟練者)

外向的レベル

身体， ツール， 環境， 作業に焦点を当てる

対象者の注意を， 最低限必要な技能を伴ったツール使用と物理的及び社会的環境に向けるように促します。

ツールを使った相互交流/作用に注意を向けさせるための戦略

日常生活の環境におけるツール使用の探索を励ましてください。
正確さを達成するために， 身体の各部位の動きとツール使用を同期させるよう支援します。

フラストレーション

対象者が， 行き詰まりを解決してフラストレーションを少なくする戦略を発展させることができるように支援します。

社会的相互交流に注意を向けさせるための戦略

構造化しない多様な機会を提供してください。
集団での相互交流
自由課題， 作業， 複雑なルールのある遊びまたはゲーム

言葉の使用

言葉を使った対話
ツール使用の結果に関する対象者の感情表現に名前を付けてください。
推論的な言葉
洗練された言葉

抽象的で象徴的な方法で使用される身体言語
多様なテンポの速く自発的な言葉

対象者が実行するための指示を与えてください。

練習状況をどのように構成するかについて、お互いに同意するようにしてください。

新しいより複雑な状況や環境において、予想して事前に計画を立てる方法に気付かせることによって、対象者が判断技能を発展できるように促してください。

いろいろな状況や環境で他の人を気に掛けることの重要性を対象者に気付かせるために、より高いレベルの判断技能を身につけることができるように促してください。

対象者の主導性を高めてください。

対象者自身の希望や目標（したいと思うこと）を発展させるように励ましてください。

対象者が主導的に行動する（自分で試みて、自分のやりたいやり方でそれを行う）ように励ましてください。

対象者に、自分のやり方でツール使用を探索させてください。

対象者が間違える機会を与えてください。

正しくないまたは安全でない操作を行う機会をある程度与えてください。

ファシリテーターに導かれるのではなく、対象者が先導できるようにしてください。

第6相の戦略—基本操作習得者

再び集中しエネルギーを維持できるように、対象者が休んで休憩する時間を持てるようにしてください。

スムーズで流暢なツール使用を目指す過程の一環として、繊細で正確な力の発揮と動きの段階付けとタイミングの発達を支援します。

ツール使用の複雑さを断続的に増加することによって、粗大な運動から微細で滑らかな運動遂行への発達を支援すると共に挑戦するように促してください。

社会的および物理的環境に関連するツール使用において、分かりにくい境界を探索するよう促してください。

道具の使用を自分自身で探索するよう促します。

複雑な使用を含まない課題を提供してください。

両手を使う活動や注意の共有が必要な活動を促してください。

第7相の戦略—上達者

操作や相互作用と結びついたツール使用スキルを拡張する日常の状況や環境の中で課題を提供してください。対象者により高い挑戦を提供するために、複雑さ、遊び、日常的な課題を意図的に変化させたり追加したりします。

簡単な取り扱い/操作の課題から始め、広い場所や狭い場所、開放的な空間や制限された空間、活動が多い環境や少ない環境、屋内や屋外、馴染みのある環境や新しく予測できない環境など、さまざまな状況や環境で操作や運用を行うよう促し、徐々に複雑さを増していきます。パフォーマンスは、静寂から背景のノイズ、強制的な指示、口頭での指示、日常的な雑談、簡単なルーチンの質問、そして詳細で具体的な質問までの範囲の相互作用を加えることによって、さらに複雑にすることができます。

低い難易度から高い難易度への段階的な漸進例

以下のことを対象者に求めてください：

- 沈黙を保ちながら、自分自身でもう一つ別の状況でツールを使用する。
- 別の状況で道具を使用し、ツール使用実行中に相互作用的な気を散らす要素を与えます。
- 問題解決が要求される状況でツールを使用する。
- 多重課題や繰り返しの問題解決が要求される状況でツールを使う。
- 予想や計画や多重課題や問題解決が要求される、異なった社会的および物理的関係を伴う多様な状況でツールを使う。

遊び（自由な遊びやルールのある遊び）の中でツールを使用し、新しい発見をすることを促します。

新しいことにトライした結果として因果関係を理解できるようになるために、経験をじっくりと内省することを促してください。—あなたは何を学びましたか？

ツールを自分自身で継続的に使用することを奨励します。それは、他の課題や相互作用への統合を含みます。

第8相の戦略－熟練者

馴染みのある状況や環境とより複雑または挑戦的な状況や環境の両方の多種多様な文脈において、ツール使用スキルを練習する機会を提供してください。自動化されたツール使用を、日常生活活動、ライフスタイル、文化に統合させてください。

参考文献

Durkin, J. (2006). Developing powered mobility with children who have multiple and complex disabilities: Moving forward (Publication No. Ethos ID: 426977) [Doctoral dissertation, University of Brighton]. Brighton, UK.

<http://ethos.bl.uk/OrderDetails.do?uin=uk.bl.ethos.426977>

Durkin, J. (2009). Discovering powered mobility skills with children: 'responsive partners' in learning. *International Journal of Therapy & Rehabilitation*, 16(6), 331-341.

<https://doi.org/https://doi.org/10.12968/ijtr.2009.16.6.42436>

Nilsson, L. (2007). Driving to Learn: the process of growing consciousness of tool use: a grounded theory of de-plateauing (Publication Number 2007:34) [Doctoral dissertation, Lund University]. Lund, Sweden. <https://lup.lub.lu.se/search/publication/548098>

Nilsson, L., & Durkin, J. (2014). Assessment of learning powered mobility use - Applying grounded theory to occupational performance. *Journal of Rehabilitation Research and Development*, 51(6), 963-974. <https://doi.org/doi:10.1682/JRRD.2013.11.0237>

Nilsson, L., & Durkin, J. (2017, 2017/10/03). Powered mobility intervention: understanding the position of tool use learning as part of implementing the ALP tool. *Disability and Rehabilitation: Assistive Technology*, 12(7), 730-739.

<https://doi.org/10.1080/17483107.2016.1253119>

Nilsson, L., Eklund, M., Nyberg, P., & Thulesius, H. (2011). Driving to learn in a powered wheelchair: The process of learning joystick use in people with profound cognitive disabilities. *American Journal of Occupational Therapy*, 65(6), 652-660.

<https://doi.org/https://doi.org/10.5014/ajot.2011.001750>

Nilsson, L., & Kenyon, L. (2022). Assessment and intervention for tool-use in learning powered mobility intervention: a focus on tyro learners. *Disabilities*, 2(2), 304-316.

<https://doi.org/https://doi.org/10.3390/disabilities2020022>

